



主催：日本国際平和構築協会、国連システム元国際公務員日本協会  
京都国際平和構築センター、国連システム学術評議会東京事務所

## 国連創設75周年記念宣言と持続可能な開発目標

2021年10月2日(土曜日)

午後8時—9時30分(日本時間)

- 8:00 – 8:05 開会の挨拶：ダリア＝シマンガン博士
- 8:05 – 8:20 講演：弓削昭子教授
- 8:20 – 8:30 討論：下村憲正氏
- 8:30 – 8:40 討論：田中美樹子氏
- 8:40 – 8:50 討論：高瀬千賀子氏
- 8:50 – 9:25 自由討論モデレーター：長谷川祐弘 GPAJ 理事長
- 9:25 – 9:30 閉会のあいさつ GPAJ 担当)

参加ご希望の方は、以下のフォームから申し込みをお願いいたします。

<https://forms.gle/GeqMM1jitjn9NbFF9>

もしくはダリア＝シマンガン宛の以下のメールアドレスへのご連絡をお願いいたします。

[simangan@hiroshima-u.ac.jp](mailto:simangan@hiroshima-u.ac.jp)



## 講演者



Prof. 弓削 昭子 (ゆげ あきこ)

法政大学 法学部 国際政治学科 教授

米国コロンビア大学教養学部卒、ニューヨーク大学大学院、開発経済学修士号取得。国連開発計画 (UNDP) タイ事務所で勤務を始め、ニューヨーク UNDP 本部アジア太平洋局に転勤。帰国後、(社)海外コンサルティング企業協会プロジェクト研究員、日本・インドネシア科学技術フォーラム事務局コーディネーター、フリーの開発コンサルタントとしても活動。その後、UNDP でタイ事務所常駐代表補佐、インドネシア事務所常駐副代表、ブータン事務所常駐代表・国連常駐調整官として勤務。フェリス女学院大学国際交流学部教授を経て UNDP 駐日代表、2006 年から UNDP 本部 管理局長 (国連事務次長補)、そして 2012~13 年に UNDP 駐日代表・総裁特別顧問を務めた。2014 年より現職。

## 討論者



下村憲正 (しもむらのりまさ)

国連開発計画インドネシア事務所常駐代表

UNDP Resident Representative

1970 年生まれ。幼少期に韓国、オーストラリアに合計 10 年程度滞在。(ソウル日本人学校小学部、中学部卒業。筑波大学附属駒場高校卒業。)上智大学比較文化学部、コロンビア大学国際行政大学院(修士)を卒業。

1997 年よりトルクメニスタン及び戦後間もないボスニア・ヘルツェゴビナの UNDP 事務所で JPO として勤務後、日本政府国連代表部(経済部)にて専門調査員として UNDP や UNFPA などの運営に関与。

その後 UNDP ニューヨーク本部危機予防・復興局局長特別補佐官、同本部欧州・CIS 局バルカン班事務官を経て、UNDP ジョージア事務所常駐副代表代行、北マケドニア共和国事務所常駐副代表、アルバニア事務所長、タジキスタン事務所長、モンテネグロ常駐代表代行を歴任。2015 年より、駐カザフスタン国連常駐調整官(国連代表)兼 UNDP 常駐代表。

2020 年 10 月より現職(国連開発計画インドネシア事務所常駐代表)。



田中美樹子 (たなかみきこ)

ガイアナの国連レジデントコーディネーター(2016 年から 2021 年 8 月)。イエメン(2013-2016)と東ティモール(2010-2013)で UNDP カントリーディレクター、そしてパキスタン(2007-2010)で副カントリーディレクターを務めた。キャリアの初期段階ではベニンでは UNDP 副居住代表(2002-2007)、中国の UNV プログラムコーディネーターおよび UNDP 貧困緩和アドバイザー(1999-2000)、ラオスの UNDP アシスタント常駐代表(1995-1999)を務めた。国連に参加する前は、タイの CARE International(1993-1995)で農村コミュニティの零細企業開発プロジェクトに従事した。ロンドン大学東洋アフリカ研究学院で公共政策と管理の修士号を取得し、タイのコンケン大学で農村開発管理の修士号を取得。日本の国際基督教大学から異文化間コミュニケーションを専門とする学士号を取得した。



### 高瀬 千賀子

執行委員、国連システム元国際公務員日本協会（AFICS-J: Association of Former International Civil Servants - Japan）

1983年6月-1984年8月に国連工業開発機関（在ジャカルタ）においてアソシエートエキスパートとして勤務後、1984年10月より国連事務局に勤務。国際経済社会局開発研究・政策分析部では中期予測を担当（1984-1989）、マクロ経済・社会政策分析部では基幹出版物 *World Economic Survey* の執筆に携わる（1989-1994）。

その後、政策調整・持続可能な開発局持続可能な開発部に移り、主に消費・生産の持続可能な行動への移行を担当する（1995-2005）。この間、生物多様性条約事務局に約3年間勤務（1996-1997）。国連に戻り、2002年にヨハネスブル（南アフリカ共和国）で行われた World Summit on Sustainable Development の準備および開催に携わる。

2005年8月より国連経済社会局経済社会理事会支援・調整部において政策調整課副課長（政策分析担当）として主に経済社会理事会の運営に携わる。

2011年3月より国際連合地域開発センター（UNCRD）所長。2017年6月30日、定年退職。現在、大学・大学院で非常勤講師として主に持続可能な開発に関して講義している。1981年国際基督教大学卒（教養学士）、1982年英国サセックス大学大学院修士課程卒（開発経済学修士号）。

## モデレーター



### 長谷川祐弘 理事長

日本国際平和構築協会理事長、京都国際平和構築センター長。元国連事務総長特別代表（東ティモール 担当）。カンボジア総選挙 UNV 選挙監視団統括官（1993）、ソマリア国連平和活動 政策企画部長（1994）、国連開発支援活動調整官（南太平洋 1985-86；ルワンダ 1995-96；東ティモール 2002-06 年）。国連システム学術評議会（ACUNS）東アジア連絡事務所長。日本 国連協会学術交流担当理事。地球憲章アジア太平洋日本委員会 理事。ミシガン大学政治学学士（1966）、国際基督教大学国際行政学修士（1968）、ワシントン大学国際関係開発論博士号（1984）。法政大学法学部国際政治学科教授、国連大学客員教授（2007-13）、京都芸術大学特別教授（2020-）。



ダリアシマンガン 広島大学大学院人間社会科学研究科・准教授。オーストラリア国立大学で Ph.D.（国際関係論）を取得後、神奈川大学にて日本学術振興会海外特別研究員、国連大学政策研究センター（UNU-CPR）研究員を経て、現職。広島大学では、FE・SDGs ネットワーク拠点の研究員も併任し、超学際研究プロジェクト「紛争後社会における持続可能な平和と平和の持続可能性」の研究代表を務める。